

青少年相談員だより

—愛のパトローラー—



フィルタリングソフトを使って青少年に有害な情報を
閲覧・視聴させないようにしましょう



問い合わせ 市児童福祉課 ☎内線1733

青少年育成牛久市民会議(市生涯学習課内) ☎871-2301

主な取り組み



保護者

携帯電話などの
ルールについて
家庭で話し合い



生徒

生徒会などによ
る安全利用運
動の実施



教職員

実践的な事例
対応研修などの
実施

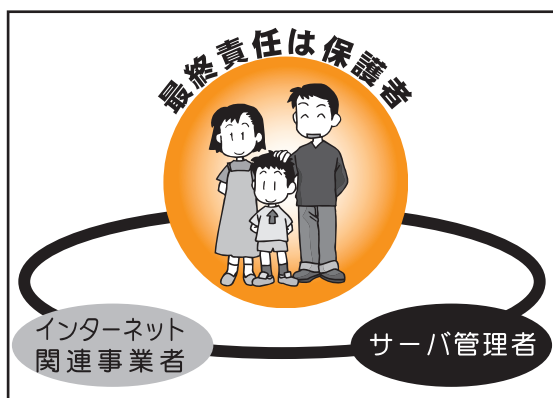
情報モラル教育に関する講習会の実施

(携帯電話・インターネットのルールやマナーなど)

インターネットなどを活用した広報・啓発活動

(インターネット上のいじめ現状などに関する知識の普及啓発)

インターネット上のいじめ、サイバー犯罪被害などの
未然防止、早期発見、早期対応



子どもたちが日常的に使用している
インターネット・携帯電話には、多く
の不安が伴います。プロフィールサイ
ト(プロフィール)では、個人情報の流出、ひ
ぼう・中傷が書き込まれたインターネッ
トいじめ、また有害サイトにアクセス
して犯罪に巻き込まれたりするなど、
社会問題になってきていることは、大人と
して大変憂慮すべきことです。

「青少年相談員だより」では、これま
でも保護者、大人、また業者の対応策
など、インターネット・携帯電話の利
用に対しての啓発活動を掲載しまし
たが、今回は教育関係機関の取り組みに
ついてお知らせします。

教育関係機関もインターネット関連
業者も、子どもたちに不利益な利用の
仕方をしないよう啓発義務を発信して
いますが、最終責任は保護者(大人)の
皆さんにかかっています。

ご家庭で、インターネットや携帯電
話についてのルール作りや安全・安心
な利用方法について、もう一度話し合っ
てみてはいかがでしょうか。

◇県条例ではフィルタリングの利用は
保護者の努力義務

◇法律では平成21年4月「青少年イン
ターネット環境整備法」が施行

教育関係機関による情報モラル教育の取り組み

平成21年度牛久市青少年相談員名簿

牛久第一中学校区
佐々木やよい ☎872-6395
羽鳥芳子 ☎873-2751
永井幸夫 ☎872-4725
半藤美智子 ☎873-6319
大西智恵 ☎871-2639
伊藤光美 ☎871-5516

牛久第二中学校区
山岡恒夫 ☎875-0533
古渡久子 ☎875-0276
酒井喜久乃 ☎875-0659
坪井幸裕 ☎875-0016
綾部久留美 ☎874-8094
唯根直子 ☎875-0786

牛久第三中学校区
小林良雄 ☎872-0242
関口眞智子 ☎872-1590
高原久子 ☎874-2471
千葉憲夫 ☎874-2117
笠間順子 ☎873-5174
齋藤 毅 ☎874-2222

下根中学校区
柳井哲也 ☎873-4374(会長)
大野光雄 ☎872-1843
岡久浩子 ☎873-3721
古里誠公 ☎873-0242
後ノ上金成 ☎872-2063
蓑毛尚恵 ☎801-5171

牛久南中学校区
諸橋康之 ☎874-7410
飯塚寿子 ☎872-7582
小竹伸子 ☎873-4078
杉田久蔵 ☎872-5450
金山和司 ☎873-8970
谷内博子 ☎872-8501

※県条例…茨城県青少年のための環境整備条例。

見たことがありますか！
このステッカー

～みんなの力でよい社会環境を～
**青少年の健全育成に
協力する店**

茨城県青少年育成協議会
茨城県青少年相談員連絡協議会

現在の社会環境の中には、青少年の健全な育成を阻害するものが見られ、青少年の非行の一因となっています。非行や犯罪から青少年を守るために、地域ぐるみの健全育成環境づくりが必要です。

そこで、青少年がよく出入りする店舗に協力を求め、青少年の健全育成に向けての理解と協力をいただいたお店には、「青少年の健全育成に協力する店」のステッカーを貼っていただき、市内では平成21年10月現在、95店舗のご協力をいただいています。

これからも地域の皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いします。

**「青少年の健全育成に協力する店」
(新規登録店)**

- ローソン牛久栄町一丁目店
- Zカンダ小坂店
- タマノ酒店
- 高橋産業
- メガネの久地岡
- 宮崎利兵衛商店
- au ショップ牛久

八街少年院を視察して

10月16日、私たちは千葉県の緑

濃い自然豊かな場所に昭和24年、中等少年院として創立された八街少年院を視察研修しました。

少年院は少年の年齢や心身の状態により初等、中等、特別、医療の4つに分かれ、家庭裁判所において送致する少年院が決定されま



す。現在こちらでは19歳以下の少年60人(定員150人)が生活訓練課程の矯正教育

を受けています。

幼少より精神的ダメージを受けている少年が多いようですが、陶芸、木工、溶接、そして屋外での農園芸実習などを通して、物を作る楽しみや働く習慣を次第に身に付けていきます。その陰には職員の方々の「決して少年たちから逃げない」強い信念があり、信頼を基盤にした人間関係の修復を辛抱強くつくり上げていく努力があります。壁に掲示された少年たちの詩に、は親を慕う気持ちや反省が溢れており涙する人もいました。講話の中で「心のよりどころとなる温かい場所(家庭、学校、地域)があれば少年たちは決して非行に走らない」という言葉が心に残りました。

薬物の恐ろしさ

最近も、有名芸能人の覚せい剤事件が、大きな社会問題となりました。青少年をはじめ、誰にでも手に入りやすく危険性が高い覚せい剤などの正しい知識と、予防の観点から、現状と対策について、牛久警察署長から原稿をいただきました。

牛久警察署長 木名瀬 千秋

昨年1年間の全国における薬物犯罪の特徴は、覚せい剤事犯の検挙人数が前年より減少した一方、大麻事犯の検挙人員が大幅に増加したことです。さらに、大麻事犯

検挙者の62・7%、合成麻薬事犯検挙者の62・6%が、少年および20歳代の若年層であり、薬物汚染が、青少年を中心に広がっていると懸念されます。

薬物には依存性があり、一度でも経験すると、使用直後の高揚感を再び得るためや、効き目が切れた際の脱力感から逃れるために、繰り返し薬物を使用するようになります。

薬物の依存は！

薬物依存は、別の犯罪を誘発する要因となり、幻覚・妄想が、殺

人などの凶悪犯罪の原因となることは周知のとおりであります。さらに、薬物購入に全財産を使ってしまうても、薬物を使用したという欲求は止まらないため、金欲しさから強盗、恐喝、窃盗または違法な物の取引などの犯罪行為に走る乱用者も少なくないのです。

このように、本人のみならず、社会全体に対して悪影響を与えることが薬物の恐ろしさといえます。

インターネットで売買！

現代社会は、インターネットを介した薬物売買事件の検挙例が示すように、顔も知らない者同士で薬物の売買も可能であり、青少年が薬物を手にするハードルは確実に低くなったと思われます。これらの環境の変化も念頭に置き、発達段階にある青少年の心身に悪影響を及ぼす薬物事犯に対し、特に警戒していただく必要があります。違いありません。

